

第1号様式 (第8条関係)

令和6年 2月 14日

東員町議会議長
山本 陽一郎 様

東員町議会議員

広田 久男



令和5年度 政務活動費に係る収支報告について

東員町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)の規定により、
別紙のとおり **令和5年度** 政務活動費収支報告書を提出します。



別 紙

令和 5年度 政務活動費収支報告書

議員名 広田 久男

1 収 入 政務活動費 110,000 円

(令和5年4月～令和6年2月分として)

2 支 出 (単位:円)

科 目	支出額	備 考
調査研究費	0	
研 修 費	108,126	「農業DX」研修費、交通費 「稼ぐ観光政策」研修費、交通費 「令和5年度トップマネジメントセミナー」研修費、交通費
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
広 報 費	0	
事 務 費	4,279	トナーカートリッジ1式 (¥42,790×0.1=¥4,279を計上)
合 計	112,405	

3 残 額

0 円

注) 備考欄には、主たる支出内訳を記載する。

注) 添付書類、領収書の写し第1号様式(第8条関係)

領収書等添付一覧 (令和5年度)

使途項目	研 修 費			
年 月 日	支 出 内 容	支 出 (円)	備 考	整理番号
R5.7.18	「農業DX」研修受講料	25,000	領収書等貼付用紙	1
R5.7.18	「農業DX」研修交通費	22,580	旅費明細書	2
R5.8.7	「稼ぐ観光政策」研修受講料	25,000	領収書等貼付用紙	3
R5.8.7	「稼ぐ観光政策」研修交通費	12,118	旅費明細書	4
R5.8.7	「稼ぐ観光政策」研修駐車料	5,000	領収書等貼付用紙	5
R5.10.2～3	「R5年度トップマネジメントセミナー」研修受講料	6,900	領収書等貼付用紙	6
R5.10.2～3	「R5年度トップマネジメントセミナー」研修交通費	11,528	旅費明細書	7
合 計		108,126		

支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧表に整理し、
領収書等貼付用紙の表紙として活用してください。

参考様式 1

領収書等貼付用紙

使 途 項 目	研修費
整理番号	1

領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出年月日) 令和5年7月18日

領収証

金額

2023 年 7 月 18 日

現金

収 入 印 紙

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011
東京都文京区千石2-34-6
株式会社 廣瀬行政研究所

Nc

内
消費税等

現金

係

使 途	「農業DX」研修受講料
按分率等 (按分の支出の場合)	
その他	

活 動 旅 費 明 細 書

議員名 広田 久男

調査研修事項 「農業DX」研修

目的地 TKP池袋カンファレンスセンター 東京都豊島区南池袋2丁目22

期 間 令和5年7月18日 から 令和5年7月18日 (1日間)

(1) 交通費 22,580 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	備 考	交 通 費(円)
R5.7.18	穴太駅 ～ 西桑名駅 (往・復)	北勢線	三岐運賃	300
R5.7.18	桑名駅 ～ 東京駅 (往・復)	JR線	乗車料金	6,600
R5.7.18	名古屋駅 ～ 東京駅 (往・復)	新幹線	自由席特急料金	4,180
R5.7.18	東京駅 ～ 池袋駅 (往・復)	地下鉄	丸の内線	210
R5.7.18	池袋駅 ～ 東京駅 往・(復)	地下鉄	丸の内線	210
R5.7.18	東京駅 ～ 桑名駅 往・(復)	JR線	乗車料金	6,600
R5.7.18	東京駅 ～ 名古屋駅 往・(復)	新幹線	自由席特急料金	4,180
R5.7.18	西桑名駅 ～ 穴太 往・(復)	北勢線	三岐運賃	300
合		計		22,580

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 0 円 × 泊

(実費の上限14,800円)

合 計 22,580 円

参 考

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない)

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和6年2月14日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会議員

広田 久男

研 修 報 告 書

研修期間	令和5年7月18日（火） 【1日間】
研修（視察）先	TKP 池袋カンファレンスセンター 東京都豊島区南池袋2丁目22
目的（テーマ等）	農業DXの現状と将来像
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

研修テーマ：農業DXの現状と将来増

1. 講師紹介：渡辺智之

- ・一般社団法人日本農業情報システム協会 代表理事
スマートアグリコンサルタンツ合同会社 代表/CEO
特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション事務局次長
- ・大手IT企業(富士通)に就職し、主に各種センサーによる生育関連データ蓄積及び作業記録アプリ等の開発を主導しつつ、農業法人に飛び込み農業を学ぶ。その後、農林水産省(以下農水省という)でスマート農業推進担当として、政府のスマート農業関連戦略策定や現場の普及促進に努める。
そのほか、慶應義塾大学SFC研究所の研究員や、自治体のスマート農業に関する会議の有識者・座長としても参加している。

2. 研修概要

- ・大手IT企業(富士通)社員時代に九州で開催していた病院システム展示会で、このシステムは農業に使えないかとたまたま相談を受けた。それがきっかけで、その農業法人に飛び込んで、農業経験(修行)をさせてもらった。(宮崎県都城市の農業法人らしい)
- ・農業者人口は110万人しかいない。年間10万人近い農業者が減り続けている。その理由は、いわゆる3K「きつい、汚い、危険」さらに「儲からない」と農業は思われていること。
- ・自分は、農業でも十分に儲かるように、従来の3Kを新しい3K、つまり、「稼げて、カッコよくて、感動がある」に変えなければならないと思っている。自分は農家さんとIT技術者との通訳をすることだと考えている。
- ・岐阜県は「スマート農業」を早くから推進し突っ走っている。自分も岐阜県のスマート農業推進検討会の座長として、とりまとめ役を担当させてもらった。
- ・岐阜県海津市に「岐阜県スマート農業推進センター」を令和2年にオープンした。ぜひ自分の農業仲間といっしょに視察に行ってみたいと思った。
- ・農業DXへの積極果敢な取り組みは地域活性化のカギである！絶対にやらないと農業は取り残され、衰退してしまう。
- ・農業の課題は、農業者人口がどんどん減っていること、高齢化が農業の重大な課題である。
農業従事者の平均年齢は65~68歳くらい、65歳以上が70%を占める。
- ・農業に入って感じたことは、試行錯誤や創意工夫が収益に反映されないこと。

だから、高く売れるように仕組みを変えなくてはならない。もっともな話だと共感した。

- ・農水省時代に農業のIT化についてアンケート取りをした結果(回答者 265人)、80%の農業者は「ITの知識不足・経営規模が小さい」を理由に、IT機器を経営に利用しようとは思わない。との結果だった。

確かに、自分も同感の考えである。

- ・しかし、一方では、農業法人数はどんどん増えている、(小規模農家は減っている)。

農水省では令和2年からスマート農業実証プロジェクトに取り組んでいる。農水省がお金を出してくれるので、イチかバチか申請してみるとよい。やりたいことがあれば申請するとよい、他より通りやすい！

令和4年現在 全国205地区で実証プロジェクトが展開されている。(年間約30地区くらいずつ増えている)

自分も提案申請のコンサルを受け付けているので相談してください。とのことだった。

- ・募集中のプロジェクトは、「①農業資材の削減(肥料・農薬・燃料など10%以上削減)、②労働力の削減(労働時間20%削減)、③収量・品質・収益のいずれか20%増加」などが通りやすい。プラス大学などを巻き込むと申請が通りやすい。本町の場合なら四日市大学などと相談してみることが考えられる。

- ・スマート農業とは、IT化で農業リスクを最低限に減らし、最大限の収入を得ること、と同時に、自分ならではのノウハウを確立し、ブランド化や事業継承に役立てること。

- ・農業DXとは、農業をデジタル技術で変革すること。(配布資料 P48 参照。略)

- ・人間の身体に置き換えて考えると分かりやすい、脳はAI(スーパーコンピュータ)、目はセンサーやカメラ、筋肉はロボットや筋力アシスト機器など、これらを活用して農業を変えてゆくこと。

(事例紹介 P54~87 は参考になる。略)

- ・スマート農業推進の最大の障害は、農家の試行錯誤と創意工夫がお金にならないこと。創意工夫して作っても100円、頑張らないでも100円だとしたら、頑張る気持ちが無くなってしまう。だから、創意工夫が価格に反映されるビジネスストーリーまで描けるどうかである。

- ・例えば、美味しいトマトを作っていても、そこそこのトマトと同じ値段でしか買ってもらえない。

多くの農協では基本的に価格はほぼ一定で、A農家から買ったトマト100Kgと、B農家から買ったトマト100Kgはほぼ同じ値段である。

超高糖度のトマトなど創意工夫して生産している農家さんの場合、農協分とは別に、地域の直売所で売ったり、市場を通さずに自分でネットショップを立ち上げ直売したり、いろいろと差別化に取り組んでいる。自分もここまでやれる力量をつけたいと思った。

- ・スマート農業、農業DXが目指すところは、ITによって品質が数値化され、「この収穫物はこの数値が高いから、味が良くて品質が高い」といった価値の根拠を数値化できるようにして、数値でランクがつけるようなブランド化を実現し、儲かるようにすることである。
- ・スマート農業のゴールの1つは、※グローバルGAPを取得することである。ビジネスメリットがある！

※グローバルGAPとは

ヨーロッパで生まれた事実上の世界基準の農業生産工程管理で、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる認証である。生産者・生産グループが認証の対象で、農業版の国際標準化機構（ISO）とも呼ばれている。グローバルGAPは世界120カ国以上に普及しており、事実上の国際標準となっている。

以上

参考様式 1

領収書等貼付用紙

使途項目	研 修 費
整理番号	3

領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出年月日) 令和5年8月7日

領収証

No. _____

令和5年8月7日

広田 久男 様

金 額

¥25,000

但 8月7日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011
東京都文京区千石2-34-6
株式会社 廣瀬行政研究所

内
消費税等

現金

係

使 途	「稼ぐ観光政策」研修料
按分率等 (按分の支出の場合)	
その他	

活 動 旅 費 明 細 書

議員名 広田 久男

調査研修事項 「稼ぐ観光政策」研修

目的地 京都経済センター 京都市下京区四条通室町東入函谷鈴町78番地

期 間 令和5年8月7日 から 令和5年8月7日 (1日間)

(1) 交通費 12,118 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	備 考	交 通 費(円)
R5.8.7	東員(自宅) ～ 京都経済センター(往)・復	自家用車	97kmx37円	3,589
R5.8.7	東員IC ～ 京都東IC (往)・復	新名神	高速料金	2,470
R5.8.7	京都経済センター ～ 東員(自宅) 往・復	自家用車	97kmx37円	3,589
R5.8.7	京都東IC ～ 東員IC 往・復	新名神	高速料金	2,470
	～ 往・復			
	～ 往・復			
	～ 往・復			
	～ 往・復			
合 計				12,118

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 0 円 ×

(実費の上限14,800円)

合 計 12,118 円



参 考

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない)

領収書等貼付用紙

使途項目	研 修 費
整理番号	5

領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出年月日) 令和5年8月7日

□□□□□□□□□□□□□□□□
くるっとパ-7京都経済パ-7-駐車場
□□□□□□□□□□□□□□□□

領 収 証

入車日時 2023年08月07日 09時15分
精算日時 2023年08月07日 16時21分
No. 21-000121 券No. 10-169311

駐車料金 (一般) : 000円

料金計 5,000円

投入現金 5,000円
找銭 0円

ご利用ありがとうございました
またのお越しをお待ちしております
登録番号: 17130005013000
一般財団法人京都市都市整備公団
消費税率10%(内税)

使 途	「稼ぐ観光政策」研修駐車料
按分率等 (按分の支出の場合)	
その他	

様式 1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 6 年 2 月 14 日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会議員

広田 久男

研 修 報 告 書

研修期間	令和 5 年 8 月 7 日（月） 【1 日間】
研修（視察）先	京都経済センター 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地
目的（テーマ等）	「稼ぐ観光政策」研修
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

研修テーマ：稼ぐ観光政策

1. 講師紹介

篠原 靖氏：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授

- ・ 30 年間旅行会社に勤めていた(東武鉄道系列らしい)
- ・ 団体旅行でたくさんの人を集め、1 人当たりの単価を安くしても大きなお金を得られる、の仕組みで航空会社や旅館と安く契約する。
- ・ しかし、安くすると旅館などでは料理素材などにしわ寄せがよる。内容が悪くなり観光地の評判も悪くなり、結果、旅行会社も悪くなる。
- ・ そこで、どうしたらよいか、北海道をめぐりどうしたらよいか考えて歩いた。たまたま、カニ業者と意気が合った。
舟をロシア人に貸してカニ漁をさせていた。捕れたカニを買い取り自分の流通で販売した。その社長と意気投合し、安くカニを購入した(2 万杯)それを、東武鉄道系列の日光鬼怒川温泉でカニ料理ツアーをやってみたら、大ヒットになった。そして、新聞・マスコミでも大騒ぎになった。
- ・ それから、総務省・観光庁、もろもろから話が来るようになった。
- ・ 全国各地で新しい観光プログラムの開発や人材育成セミナーを担当し、広域観光圏やDMO組織構築、インバウンド戦略、ニューツーリズムによる集客システムの開発等を手がけている。
- ・ 国土交通省「社会資本整備審議会委員」、観光庁：「外国人旅行者に対する地域資源の意識調査事業」検討委員会座長、『テーマ別観光による地方誘客事業』有識者委員等、省庁の委員や全国各地の観光関連委員等を多数歴任。

2. 研修概要

■本日の研修のポイントは、参加者地域の課題を共有し、研修を進めたいと思っている。

■日本の観光のあゆみ

1960 年代は食べられればよい時代、旅に出られれば満足、宮島、はとバス

1970 年代は物の時代、新幹線、ハイデッカーの快適なバス、ボーイング 747

1980 年代は金の時代、バルブ景気

1990 年代は情報の時代、バルブがはじけ個人旅行に変わった。鬼怒川温泉は廃墟化

2000 年代は情報の時代、新時代の観光・・・楽天トラベル

2010 年代は個性(地域)の時代～こだわりの個人旅行の時代・・・素材磨きと本物の追求

2020 年代は戦略的観光の時代、コロナで止まったが戻ってきている。浅草は外人でいっぱい。訪日外国人が増加している。

■日本の観光は大きく変わってきている

- ・日本経済を支えてきた主要産業の競争力は低下してきた。今までは工業製品などを輸出して外貨を稼げていたので、観光産業は特別意識していなかった。(必要がなかった)
- ・現在では訪日外国人旅行者の消費額は、自動車、化学製品に次いで第3位、政府は第2位まで伸ばしたい、と考えている。
- ・欧米とアジアの両方の旅行アンケートでは、行ってみたい国は、日本は世界1になった。何故か？
理由は「清潔」だからだった。コロナ感染症があってそのような評価が上がった。
消毒・手洗い・マスクなど日本だけは徹底された国であったから。

■政府は訪日外国人の目標を一気に倍増した

- ・安倍首相は大胆な改革を断行した。2020年には4000万人、8兆円を目標にした。

★解決すべき課題は、

- ・人数で増やすのではなく、使う金額を増やすこと。
- ・地方で観光客を増やす観光資源をつくること。
- ・政府は新しい提案をする地方にはお金を出すことをやっている。
従って、しっかりとした計画をつくり、成果を出さなくてはならない。

■地方における課題

- ・東京一極集中によって地方の人口が激減した、「増田レポート」は現実になっている。
- ・定住者が1名減ったら、外国人旅行者8人分、国内旅行者(宿泊)23人分などと推計されている。

■交流人口の拡大～また来たくなる地域にする

そして、関係人口の拡大、そして、定住人口の拡大につなげる。ことが目指すべき姿

■新観光庁長官 高橋一郎氏はやり手！である。

やる気のある地方には支援する。

- ・地域の魅力を地域を上げて創り出す…地域の問題を
- ・例えば、ボランティアガイドはお金を取った方がよい。アンケートを取ったら3万円/月の給料でよい、お金儲けでやっていない地域愛。

■地域観光コンセプトづくり5つのポイント

(1)資源発掘の視点

(2)顧客価値の視点

- ・只見鉄道の例、国(政府)の人が来たとき、町長は一生懸命よいところを案内、紹介してまわった。

町長はブナ林を(他のブナとは色が違う)自慢した、夜にブナ林は他との違いがわからないことを指摘した。

何か他に鳥のさえずり、etc など、他とは違う特徴が必要。森林だけでは売れない！

(3)資源の編集の視点

(4)事業モデル化の視点

継続的な事業として発展させるための事業モデルとして、どのような工夫をするのか？

(民間でやってもらって、お金を設けてもらう仕組みを創らないと継続しない)

(5)人材育成の視点

■目指すべきキーワードは

- ・これからの観光は、「今だけ」、「ここだけ」、「あなただけ」、体験・滞在・交流がカギである。

例えば、草津温泉は湯畑をラントアップ、泉質主義を徹底しブランド化した。付加価値をつけたら観光者が増加した。

★つまり、独自性、自分たちの地域を理解し、よい資源・魅力を伸ばすこと、と理解した。

■次なる重要な課題は、稼ぐ観光への仕組みづくり

- ・発地型旅行と着地型旅行がある。地方は、着地型旅行を売り込む仕組みをつくる。

つまり、その魅力を伝える情報発信をする。そこを考える。

■青森県五所川原の「地吹雪ツアー」から学ぶ地域資源の見つけ方と編集の視点

5つのポイントを頭に描いて考えること。

(1)津軽鉄道を活用した例

- ・何もない厳しい寒さの地域なのに、一生懸命に何かないかを考え出した。
- ・観光の何に目をつけるか、ここだけにしか無いものは何か「ストーブ電車」。
- ・ゆっくり走る田舎鉄道、地酒とスルメ、地元の人と話す津軽弁などなど。

(2)他の魅力発掘を話し合った

- ・猛吹雪がここにはある。地吹雪体験(雪国ならではの防雪衣装など)かんじきウォーク

ただし、地元根付いた本物でないとヒットはしない。ことをチャント認識

せよ。

(3)「鮭のジャッパ汁」

(4)津軽弁講座を開催(太宰治記念館の活用)

(5)農耕馬「金太郎君」まで観光資源にした。気付いて利用したことがすごいところ！

■「地吹雪ツアー」から学ぶ、のまとめページを参考にすること。

・これからの地域観光の構成モデル

■地域観光の変化と再構築モデル

- ・熱海は再生した、どうやったのか？1泊目は旅館、2泊目は地元料理屋・漁業体験・軽石採取など、地域と一体となったまちづくりの取り組みをした。
- ・いろんな人たちが関わり合っている。

■稼ぐ観光への仕組みづくり

- ・あなたの市町村では、何のために観光を行なうのか。

■観光地域づくり法人(DMO)の形成・確立

- ・国がつくれと指示したから県から市町村に伝わり、首長以下そうそうたる著名者で組織ができた。しかし、DMOの重要性をわかってないから機能していないものになった。
- ・そこがダメなところ、本気で取り組む組織を創ることが大事！

■事業推進していく中での課題

- ・観光協会とは別に観光戦略を考える有能なスペシャル組織を設けるようなやり方が良いかも。とのこと。

★DMOをもう少し勉強すること！

- ・専門家を国から派遣してもらう。但し地域で頑張る人に勉強してもらい、修得してもらう。これが育成である。又は、国に勉強に行ってもらう。

★観光庁/インバウンドをよく調べる

- ・ネットで観光戦略などを検索してみる。
- ・8月下旬に国は来年の観光政策の予算申請をするので、官公庁の補助で何が出て来るのかが調べられますよ。

★ほか市町村の観光ホームページを観るのも、観光戦略の参考になるので調べてみるべし！

■講師のまとめ

- ・絶対的なポイントは、「どんなまちにしたいのか」を考える。
- ・住民を入れてしっかりと考える。
- ・何をやるかを見極めること。まちを隅々まで歩き回ること。
- ・まちの歴史も調べること。

■所 感

★観光戦略はできる人から始めて、成功例をつくる。それから人を少しずつ巻き込んで広めてゆく。そんな進め方になるんだろうなと思う。

★もみ合いをして、工夫して、どんどん改善してゆく。

★篠原氏は声をかけてもらえば講演に行きますよ。国費で行けます。とのことでした。

★気仙沼市はDMOでも参考になる。よい組織ができている。見て来るとよい。とのことでした。

観光戦略のプロ、親身になって相談に乗ってくれそうだな、と感じました。

以上

領収書等貼付用紙

使途項目	研 修 費
整理番号	6

領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出年月日) 令和5年9月22日	
領 収 書 東員町議会 広田 久男 様 金額 6,900 円 但し、 令和5年度トップマネジメントセミナー の 研修に要する経費 として上記の金額を領収いたしました。 令和5年9月22日 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 分任出納役 梅村 徹弥 領収書No. 226	

使 途	「令和5年度トップマネジメントセミナー」研修料
按分率等 (按分の支出の場合)	
その他	

活 動 旅 費 明 細 書

議員名

広田 久男

調査研修事項

市町村議会議員研修～「R5年度トップマネジメントセミナー」

目的地

全国市町村国際文化研修所(JIAM)

滋賀県大津市唐崎二丁目13 番1 号

期 間

令和5年10月2日 から

令和5年10月3日 (2日間)

(1) 交通費

11,528 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	備 考	交 通 費(円)
R5.10.2	東員(自宅) ～ 滋賀(JIAM) (往)・復	自家用車	92kmx37円	3,404
R5.10.2	東員IC ～ 大津IC (往)・復	新名神	高速料金	2,360
R5.10.3	滋賀(JIAM) ～ 東員(自宅) 往・復	自家用車	92kmx37円	3,404
R5.10.3	大津IC ～ 東員IC 往・復	新名神	高速料金	2,360
	～ 往・復			
	～ 往・復			
	～ 往・復			
	～ 往・復			
合 計				11,528

(2) 宿泊費

0 円

(宿泊内訳) 実費

0 円 ×

(実費の上限14,800円)

合 計

11,528 円

ご利用のNEXCOサービス 利用証明書 NEXCO 東日本 EX000内日本道路サービスセンター 0120-951-888 登録番号: TS12001112251 料金所(自) 東員 料金所(他) 大津 23年10月 20 10時 0分 通行料金 Y2,360- 料金所(自) 東員 1 料金所(他) 大津 1 登録番号 A51310-029157-253133	ご利用のNEXCOサービス 利用証明書 NEXCO 東日本 EX000内日本道路サービスセンター 0120-951-888 登録番号: TS12001112251 料金所(自) 大津 料金所(他) 東員 23年10月 20 11時 22分 通行料金 Y2,360- 料金所(自) 大津 1 料金所(他) 東員 1 登録番号 A51310-029157-251635
--	---

参 考

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない)

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和6年2月14日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会議員

広田 久男

研 修 報 告 書

研修期間	令和5年10月2日(月) ~10月3日(火) 【2日間】
研修(視察)先	全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
目的(テーマ等)	令和5年度 トップマネジメントセミナー
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

セミナー１：城跡を活かしたまちづくり

1. 講師紹介

千田 嘉博氏：名古屋市立大学 特任教授・奈良大学 特別教授
城郭考古学者。大阪大学博士（文学）。奈良大学元学長。1963年愛知県生まれ。

城郭考古学者の千田嘉博氏は、NHK「英雄たちの選択」「ニッポン不滅の名城」「プラタモリ」「日本最強の城スペシャル」、TBS「世界ふしぎ発見」他、お城をテーマにした番組には欠かせない人物で、親しみの持てる著名人です。

2. 研修概要

◆城跡を活かしたまちづくり

講義全般から感じ取ったことは、「城は専門家が歴史を解明するだけの存在ではなく、城に眠るそれぞれの物語を知ることにより、地域や郷土への愛着を増し、さらに、地域住民とともにいかに保存・活用していくかを考えてゆくこと。地域に残るお城の価値を研究者だけではなく、地域住民と一緒に共有できれば、昨日まではただの藪や山に見えていたところが、世界に一つだけのオンリーワンの価値を持つお城の跡で、地域の歴史を物語るかけがえのない場所として認識できる。みんながそう思えばお城を保存して整備・復元した上で、町づくりに活かしてゆける。地域住民と一緒にどうしていくかを考えることである。

つまり、歴史を感じられる新しい、魅力的な地域社会の未来をつくるまでが城郭考古学の研究範囲であると解釈した。

- ・城を勉強すると人(トップに立つ武将)の決断を知ることができる、イコール決断力がつく。ぜひお城を好きになってほしい。
- ・戦国時代を代表する武将は、仙台は伊達政宗、織田信長 etc、それ以前の社会は荘園制、つまり、京都に全てが集中する社会であった。戦国時代になって、何故京都にすべてを集めなくてはならないのか疑問を持った。
例えば、戦国時代に地方で作られた庭園、福井県一乗(いちじょう)谷(だに)朝倉(あさくら)氏(し)遺跡、岐阜県江(え)馬(うま)氏(し)下館(したやかた)などは、京都に金を取られないと京都に負けない壮大な庭が作られている。
- ・つまり、戦国時代は、京都にすべてを集めた仕組みを壊して、地方が力を持って経済と文化が栄えた時代である。
- ・戦国時代のお城はどんなものだったのか、を説明する。

◆視点①最前線の城を知る

- ・群馬県「棒名(ぼうな)峠(とうげ)白(しろ)御法度(ごはつと)」には、
 - (1)城門は朝 7 時に開門し扉の点検をする、夜は巡回を怠らず、3 回は見回りをする。
 - (2)番中にどのような遺恨があっても我慢し、終わってから上司に報告する。
 - (3)夜は、賭博、双六かけ事は城内禁止、分かったら当人だけでなく妻子も張り付け処刑する。
- ・結構、厳しい規律が定められていた。ということ。
- ・大阪城の発掘調査の紹介、大きな大名屋敷が発見された。豊臣大阪城大門前で足軽(あしがる)たちの住まい(陣(じん)小屋(こや))が発見された。
- ・1656 年「武(ぶ)教(きょう)全書(ぜんしょ)」には、(軍隊の統制法、主戦、客戦、攻城、守城などの戦法、築城や兵具などの軍事技術を取り扱っている山鹿流兵学の百科全書というべきもの)
 - (1)陣屋は侍大將は 8 畳、ほか身分による住居の広さが記されている。
 - (2)福島県西山館では陣小屋全体が発掘された。足軽は一番外側に陣小屋が配置されていた。
 - (3)長崎県原城跡、陣小屋の発掘では全滅した様子を調べている。島原の乱のときにこの陣屋で籠城(ろうじょう)した。島原陣図屏風でもその悲惨な姿が描かれている。
 - (4)発掘で竪穴陣屋の様子がわかった。火を炊いた形跡は見つからなかった。明かりも暖もとらずに耐えた。陣小屋ひとつは家族単位で調理も取らずに耐え忍んだ。
 - (5)食事は全員で給食センターみたいなところで取っていた。ということがわかった。
- ・城は武士だけでなく、多くの地域の人たちも籠城した。

◆視点②城の病気の蔓延を防ぐ (略)

◆視点③自分と家族の命を守る

- ・戦国時代、村を守るため自分たちで堀を作った。(奈良県稗田(ひえだ)環濠(かんごう)集落がその例)
自分たちの土地は自分たちで守る、ということをやっていた村はたくさんある。

・視点④戦いと女性の紹介「おきく物語」

- (1)1615 年 豊臣大阪城落城のときに、淀殿に仕えていた侍女(おきく)が台所から戻って、玉造り口が焼けていることを伝えた。長局(ながつぼね)が本丸の縁側に出て自身で見渡した、そして負けを確信した。脱出を止められたが自分の判断で逃げた。

- (2)すると金の瓢箪(ひょうたん)の馬印が放置してあったので、女たちでこれを壊して捨てた、それが敵方に渡ったら大変な雪辱を受けたであろう。それを女たちが救った。
- (3)何とか外に逃げ出した。金を持っていたので強盗をボディガードにして大阪城から脱出した。
- (4)松江城天守の1階には人質室があった。これから大阪夏の陣図屏風には大阪城の窓には女が描かれている。城は女も暮らしていた。ということ。
- (5)日本の女性とヨーロッパの女性(戦国時代)、女性は文字も書ける他いろいろ。女性は抑圧されるばかりでなく、女性も責任を持って行動していた時代。だということ。
- ・城跡を調べるとそういうことが分かってくる。

◆視点⑤城を守って未来に活かす

熊本城は地震でいっぱい壊れた、石垣も壊れた。(昼間に発生していたら大変な人災になっただろう)

- ・熊本城の修復にもかかわっている。(五郎丸や小天守台石垣ほかなど)
- ・石垣の修復は元通りに直すことを原則としている、しかし、耐震補強をしながら、何故その石垣が崩れたのかを調べて補強しながら修復している。進みは遅いと言われるが、それだけ大切に直している。後30年くらいはかかる。

◆重要！ だれもが平等に見学ができ、歴史の勉強ができるように今は復元することが大切である。

- ・健常者だけが見学ができる復元ではダメである。
- ・熊本城はスロープを設けて車いすの人も見学ができるようになっている。他には、火災阻止のスプリンクラー、防火壁なども必要である。昔は無かったから設置してはならないの考えは間違いである。
- ・また、昔の階段を一部再現はしている。しかし、見学者用にはゆるやかな階段を設置している。こういう工夫はこれからは必要である。
- ・つまり、「金沢城の復元はすべての人に開く石川県の整備」であること。

◆奈良大和郡山城の史跡整備では、悲しい看板表示があった。「車いすの人は通れません」となっている。復元された極楽橋は階段を設けた橋にしてしまった。(2021年3月竣工)

スロープを併設して、みんなが通ることができるようにしてほしい。整備検討のとき健常者だけで話し合われたのが課題。

- ・海外の城の復元はスロープがつけられている、エレベーターを設置している。(ガーナーブオン城)など
- ・日本では立体模型は柵に囲われて展示している。健常者だけしか見られない。

海外では手で触れる、点字説明入りにしている。日本はこれら配慮の面ではすぐ遅れている。みなさんよく考えてください。
いろいろなことに気付け、学べた講義でした。

セミナー2：ヨーロッパの取組から学ぶ豊かなまちづくり

1. 講師紹介

服部 圭郎氏：龍谷大学政策学部政策学科 教授

1963 年東京都生まれ。東京・ロサンゼルス郊外サウスパサデナ市で育つ。
東京大学工学部を卒業、カリフォルニア大学環境デザイン学部で修士号を取得。

某民間シンクタンクを経て、2003 年から明治学院大学経済学部で教鞭を執る。
2009 年 4 月から 2010 年 3 月にかけてドイツのドルトムント工科大学客員教授。
明治学院大学経済学部教授を経て現職。博士（総合政策）、技術士。

2. 研修概要

◆なぜ今、ヨーロッパから学ぶのか

- ・ 今ヨーロッパは変わってきている。学ぶべきことが多い。どうしてか、
 - ① 都市間競争が半端ない。それは、EU 連合が 1993 年に設立されたことが要因（国境なしに変わった）
 - ② 人口減少が進んでいる（地域差はあるが）、日本と似たような問題を持っている。
（北欧、アイスランド、スウェーデン、デンマークなどは人口増加している。
一方、スペイン・フランス・旧東ドイツなどは人口減少している）
 - ③ 多様性へ対応している（余儀なくされている）。難民の受け入れ、移民の増加など（スウェーデン、ノルウェー、ドイツ、フランスなどが多い）
 - ④ 環境問題（エネルギー問題）への取り組みが進んでいる。日本はごみ分別が進んでいる、しかし、リサイクルは進んでいない。
エネルギー問題はヨーロッパでは進んでいる。日本より先を行っている。
（スウェーデンは水力発電、デンマークは風力発電、ほか太陽光発電など）
 - ⑤ 脱自動車の試みが試されている。東京・大阪は自動車依存度の低さを世界に誇るが、地方都市においては自動車の依存度が極めて高くなっている。

◆5 つのプロジェクトテーマ（政策）

①都市・地域アイデンティティ※の強化

※地域の独自性を高め、表現することにより、その地域の活性化を図ることをいう。

ヨーロッパの企業誘致動画をみて（ドイツの某都市）、アイデンティティづくりを強化している。（コミュニティ向上、都市アイデンティティ、つまりイベン

トや祭りを行なっている)

- ・例えば歴史的な都市アイデンティティを維持し、継承する。(京都ほか)
- ・ヨーロッパの例としては、プラハはガス燈に交換している(約 700 燈)。理由は歴史的な市街地を演出するため。
- ・ノルドライン・ドイツのミュンスター…第二次世界大戦でほとんど破壊された、それを復元・復活している。昔の街並み・景観を戻した。
- ・他と違うことを意識づけている。
- ・一方、何も無いところはどうするのか…ビルバオ・グッゲンハイム美術館を持ってきた(分館)…独創的な建物を造った。それが評判になり観光地となった。イメージを一新した。

②異和共生型まちづくり

- ・チャンポンとカツカレーで説明した。日本で創り出したもの。
- ・資料の 5. 項を参照する。
- ・アブサロンを調べる(夕食の提供、集ってコミュニティを増す)

③自動車以外の交通手段の充実

- ・課題は、エネルギー・土地の無駄・都市のヒューマン・スケールの下降・道路建設は高額、ほか。
- ・大阪の自転車利用率はトップクラスである。
- ・コペンハーゲンの自転車利用は年々増加している。どうしてか、オイルショックが引き金になって、自転車が増えた。土地が平らなことも影響している。今は、自転車専用道路を作っている。道路に埋めたライトに合わせて走ると信号待ちをせずに通過できるようにしている専用自転車道もある。
- ・公共交通利用の促進について、
- ・路面電車は 1980 年頃から増え出している。
- ・ストラスブールは、路面電車 1960 年に廃止

④自動車からの解放された歩行者空間

- ・コペンハーゲン(デンマーク)のストロイエが成功例
- ・カールスルーエのガイゼル通りの約 1km はトランジットモール化
- ・リスボンの中心地区で歩道を拡張した。

⑤レジーリエントな都市づくり

- ・エネルギー・食料などの自給自足型の都市・地域づくりを展開する。
- ・ごみの循環…日本は分別は得意である。しかし、生ゴミはドイツやオーストリアに学ぶところがある。
- ・デンマークのロラン島は、自然エネルギー比率は 700%(風力利用)
農家が組合をつくり設置した。電力工場を作った、メンテ会社をつくった。な

ど。

- ・ロラン島は自然エネルギーを学習する施設を造り、観光利用にも一役を担っている。うまいやり方である。
(風を利用した地域おこし)

◆生物多様性を意識した都市・地域づくり。ティルブルク市など。

◆日本の課題

- ・トップダウンが課題、職員が考えなくなってしまう、って言うか考えさせるようにすること。ボトムアップで進めることができるかがカギになる。
(国の補助金を狙った時点で半分負けている。策づくりがやっぱり鍵になる)

セミナー3：食(ローカルフード)による地域づくり

1. 講師紹介

梶山 葉月氏：料理家・フードコーディネーター

東京農業大学卒。静岡県伊豆の国市出身。

テレビやCMなどに登場する見た目で美味しそうに見せるシズル料理、食べて美味しいレシピ提案、シチュエーションに合わせた器のスタイリング、マーケティングに合わせた商品開発など「食」に関するトータルコーディネーター。

2007 年から日本テレビ系列「秘密のケンミンショー」の担当フードコーディネーターを担当し今年で 17 年目となる。番組で紹介した全国の郷土料理は 600 以上となる。

2. 研修概要

★本日の講演は、郷土料理はたくさんあります。紹介と考え方などを話したい。

◆伊豆の郷土料理紹介

- ・わさび・・・自宅では酒粕(さけかす)と混ぜて作るわさび漬けをよく食べていた。
- ・黒はんぺん・・・ショウガしょうゆをつけて食べていた。
- ・静岡おでん・・・美味しかった。
- ・ズガニうどん・・・大好きです。30 年以上前の記憶、おじいちゃんが川で捕ってきてこまごまに叩いて煮てそこにうどんを入れる。とてもおいしかった。「おふくろもう一杯」の番組で初めて作った。生きているカニをたたき割るのは大変、フードプロセッサーを使わせてもらった。昔の人は大変だったこと

を知った。

◆郷土料理とB級グルメのちがい

(資料参照)

- ・風土や習慣に合った料理、きりたんぽなど。
- ・地域の町おこしのために作られた比較的新しい料理、富士宮焼きそばなど。

◆B1グランプリ

- ・2006年に始まったB級グルメを競うイベントではなく、地域を知ってもらうイベントである。
 - ・総務省が出典している経済効果、富士宮焼きそばは217億円
 - ・グランプリの創設者は木村聡さん、東京農大出身であった、尊敬・自慢する。
 - ・農大では毎年収穫祭を開催している、そこでは郷土料理の模擬店が出店され、評判が良かった。味だけでなく呼び込みなどで競う、2100食準備した、大変であった。
- 木村さんはこのイベントのことを知ってたのか、聞きはしていないが、もしかしたら収穫祭を基に発想されたのかも知れない。

◆秘密のケンミンSHOW

- ・印象に残った郷土料理として、これ食べていいの？など。
 - ・山形県の「あけびの肉詰め」、あけびの皮は乾燥して保存ができる。
 - ・山形県はあけびの生産トップ、料理がふんだんにある。など
- ・ヒトデを塩ゆでして食べる。これはショッキングであった。自分も食べたがとてもおいしかった。酒が進むなー、とも思った。
- 毒ヒトデもあるので、注意すること。
- ・ケンミンSHOWで嬉しかったことは、ゲストの方からとても美味しいと言ってもらったこと。
 - ・友達さんからレシピを教えてと言われた。久本さんから持ち帰って食べるからと言われたことなど。

◆①郷土料理の再構築による価値(付加価値をつける)

- ・徳山鮓(すし)・・・有名にしたのは「鮓すし」、作り方(省略)
- ・鮓すしは2回食べた。2回目は徳山鮓さんで食べた。とても食べやすく酒のあてにぴったりであった。
- ・徳山鮓さんで1日修行させてもらった、印象に残ったのは塩漬けした鮓の

掃除をするのが辛かった。正直むちゃくちゃ臭くて大変、でも少しずつ慣れて来る。

- ・大将は、毎年試行錯誤して作っていると言っていた。伝統的な部分を残しつつ進化し続けている。例である。

◆②名前による価値(付加価値をつける)

- ・初恋糖・・・甘酸っぱい甘みがある。(イチゴと砂糖)
うまい名前付けがよい。名前だけで人気が出る。

◆③体験による価値(付加価値をつける)

- ・ガストロノミーツーリズム(資料を参照)
- ・日本でも少しずつ出てきた。スペインのサンセバスチャンでは観光客が乗せてほしいものを店員にいう、ほとんど仕事をしない人たち、日本とは全く違う習慣(文化)にびっくりした。毎日がお祭り状態。
- ・美食の街と言われる理由は、人口1人当たりのミシュラン獲得数加瀬多いる
- ・地産地消である。豊富な食材確保・美食倶楽部の存在(男性専用)
ハイレベルな料理学校・大学があること。
- ・レシピのオープンソース化、など。
こんなことが「ガストロノミーツーリズム」につながっている。と思う。
何かのヒントにしてほしい。

◆少し目線を変えて

- ・「おんせん県」シンフロ篇フルバージョンのYouTube紹介があった。別府の温泉地紹介、
- ・別府市公式チャンネル～別府温泉の女将編(YouTube)
どのCMもおもしろく出来上がっている(いい意味でぶっ飛んでいる、若い世代に受けていると思う)参考にしてほしい。

◆次世代に郷土料理を伝えるために大切な3つのこと

①知る機会のハードルを下げる

- ・なぜYouTubeをやるのか・・・資料を参照
うまく郷土料理をYouTubeで紹介している例紹介・・・「田舎そば川原」そうめんゆでるな、そうめんの作り方を教えている。何よりおばあちゃんのやさしさが伝わって来る。

- ・知る機会のハードルを下げるために SNS を活用してほしい。

②作る機会のハードルを下げる

- ・日本ホビーショー…(略)
- ・米穀安定供給確保支援機構…太巻きまつり寿司を開催している。(2019 年に参加した、テーブルコーディネートを紹介カッティングボードに寿司を乗せたり(P50)、少しカジュアルにみせる、など。

③食べる機会のハードルを下げる

- ・東京都はコロナ以降、転出が増えて転入が減っている。地方や地元に戻る人が多くなった。そして、郷土料理を食べる機会が増えたと思う。チャンスにするとよい。
- ・例として三浦市の朝飯屋さん「あるべ」の紹介、菊池未来さんは考えて創設した。今は中断しているらしいが、ここでは紹介だけする。
(資料の事業内容を参照)
- ・食べる機会のハードルを下げるために
地域の人と交流ができる場所づくりをする。
- ・講師が述べられたことを踏まえて、大切なのは地域の人たちが、自分たちが食べていた料理を美味しく食べることだと感じました。

セミナー 4：子供まんなかまちづくり～こども家庭庁の設立とこども基本法の施行

1. 講師紹介

清原慶子氏：杏林大学客員教授・こども家庭庁参与・前三鷹市長

慶應義塾大学大学院修了後、東京工科大学メディア学部長等を経て、2003 年 4 月～2019 年 4 月まで東京都三鷹市長を務め、『自治基本条例』等を制定し、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」「妊婦全員面接」「産後ケア」を創始するなど「民学産公官の協働のまちづくり」を推進。

内閣府子ども子育て会議・少子化克服戦略会議委員、厚生労働省社会保障審議会少子化対策特別部会委員、全国市長会子ども子育て施策担当副会長等を歴任。

現在は杏林大学客員教授、こども家庭庁参与、内閣府休眠預金等活用審議会委員、総務省行政評価局アドバイザーほかいろいろな委員などを務めている。

2. 研修概要

- ・一緒に考えましょう、自分がこどもの頃はどうか？
覚えていますか？ 思い出すことから始めてほしい。

1. 少子化をめぐる現状(について説明)

前段のまとめは、P15 参照

- ・若い世代が結婚・子育ての将来展望を描きにくい。
- ・子育てしづらい社会環境や子育てと両立しにくい職場環境がある。
- ・子育ての経済的・精神的負担感や子育て世帯の不公平感が存在する

2. 「こども家庭庁」設立に向けた検討経過と「こども基本法」

- ・P21 の閣議決定は知っておくとよい。
- ・P22 「こども基本法」の概要は知っておくこと。ポイントは、基本理念の②に「愛され」という言葉を始めて入れた。(講師は時間を使って説明した)
- ・これを実現させるために「こども家庭庁」ができた。

2023 年 4 月、『こども基本法』が施行される。この法律の基本理念は、全てのこどもについて、「個人として尊重されること、基本的人権が保障されること、差別的取り扱いを受けることがないようにすること、適切に養育されること、生活を保障されること、愛され保護されること、教育を受ける機会が等しく与えられること、年齢及び発達に応じて自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会が確保されること」などが定められている。

3. 「こども家庭庁」の基本姿勢と組織

- ・P25、自分は役割の(2)地方自治体との連携強化をメインに促進している。とのこと。
- ・国と地方自治体の連携は必要不可欠の大臣メッセージに沿って促進しています。

4. こどもの「ウェルビーイング」(こども・若者の意見表明機会の保障)P35

- ・ウェルビーイングを実現するために、学校・社会・家庭、取り分け地域コミュニティが一体的に取り組むことが重要である。
- ・P40, P41 で三鷹市長時代の事例を紹介(省略)
- ・年長児・単身男性など無作為抽出して語り合った。初めて面会する人たち 10 人くらいでワークショップを行った。2 回目の妊婦さんと面会懇談した、2 人

目ならではの心配事があって、やってよかった。依頼した人の約10%程度が受けてくれた。

5. こども大綱とこども家庭庁の当面の主な課題

- ・ こども大綱の策定の過程、9/21 現在(案)が取れています。
- ・ P52、「こどもまんなか社会」の青字①と②、ただし具体的な政策を推進しなければ実現しない。
- ・ すなわち、こどもや若者、すべての人の幸福が高まること。
- ・ こども家庭庁のやさしい版を見た方が理解しやすい。参考にする。

6. 子育てしやすい環境づくりと「こども応援サポーター」

- ・ 子育てアンケートから、子育てしづらい日本になっている。どうしたらよいのか、
- ・ P63、こどもまんなかアクションの取り組み。直ぐに始めた。
- ・ こどもまんなか応援サポーターの取り組み。企業もサポーター宣言をしている。

7. こどもまんなかまちづくりと民学産公官の協働(まとめ)

- ・ 三鷹市自治基本条例を紹介。
- ・ 協働の原則は、P71 参照(三鷹市時代は P72 で進めた)
- ・ P73, 74 が不可欠である。(略)
- ・ 参考になったことは、「こども未来戦略」をよく理解して、これから先みんなが協力してやってゆくことだ、ということ。

以上

領 収 書 等 添 付 一 覧 (令和5年度)

使途項目	事 務 費			
年 月 日	支 出 内 容	支 出 (円)	備 考	整理番号
R6.2.9	トナーカートリッジ(レーザープリンター用)	4,279	購入金額の 10%を計上	8
合 計		4,279		

支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧表に整理し、
領収書等貼付用紙の表紙として活用してください。

参考様式 1

領収書等貼付用紙

使途項目	事務費
整理番号	8

領収書・その他証拠書類貼付欄

(支出年月日) 令和6年2月9日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

511-0254 三豊県員弁郡東員町
中上539番地
廣田 久男 様

■お寄せ先

キヤノンオンラインショップ コールセンター
TEL 0570-08-0058

※最速0570のお掛け間違いにご注意ください

受付時間 平日 9:00~17:00

※土日祝日、年末年始、弊社休業日を除く

伝票番号 OM1728393863
受注番号 213531045
印刷日 2024/02/08
印刷予定日 2024/02/09見積番号
注文番号 CA02534072
専用伝票番号いつも厚紙のお引き立てを賜り誠に有難うございます。
下記商品を納品いたします。

商品明細

品名	注文番号	商品コード	数量	単価	金額
キヤノン トナーカートリッジ 054 Y (イエロー)	3021C003	CRG-054YEL	1 個		
キヤノン トナーカートリッジ 054 M (マゼンタ)	3022C003	CRG-054MAG	1 個		
キヤノン トナーカートリッジ 054 C (シアン)	3023C003	CRG-054CYN	1 個		
キヤノン トナーカートリッジ 054 Bk (ブラック)	3024C003	CRG-054BLK	2 個		
EC代引手数料	01022479		1 個		

トナーカートリッジ代金
¥42,790円

免状または非課税商品は明細右側に「=」、軽減税率商品は「%」を表示しております。

使 途

レーザーカラープリンター用トナーカートリッジ代金

按分率等

(按分の支出の場合)

その他